

系	統	低収縮型不飽和ポリエステル樹脂系コンクリート用結合材
特	長	1) 硬化性、強度発現性に優れる。 2) 機械的強度に優れる。 3) 硬化収縮がほとんどない。 4) 注入充てん作業性に優れる。 5) 耐水、耐薬品性に優れる。
用	途	1) SBプレパックドコンクリート用結合材 2) 沓座桁座コンクリート部の補修に使用
配	合	主 剤：硬化剤：充填材：促進剤 = 8.9：0.2：0.9：0.05～0.15 (重量比)
荷	姿	10kgセット (主剤/8.90kg、硬化剤/0.20kg、充てん材/0.90kg、促進剤/0.05kg×3本)
外	観	主 剤…灰色液状 硬 化 剤…白色粉体 充てん材…白色粉体 促 進 剤…淡黄色透明液状 混 合 物…灰色液状

## 可使時間の目安

タ イ プ	通 年 用			
	5	10	20	30
温 度 [°C]	5	10	20	30
促 進 剤 [本]	3	2	1	1
可 使 時 間 [分]	25	30	20	8

## 比 重

1.20±0.05 (硬化物)

## 貯蔵保証期間

9か月 (未使用、冷暗所保存)

消 防 法 による  
区 分

主 剤 危険物 第4類 第2石油類  
 硬化剤 危険物 第5類 第2種自己反応性物質  
 促進剤 危険物 第4類 第3石油類

毒 物 及 び 劇 物  
取 締 法


主 剤 該当しない  
 硬化剤 該当しない  
 促進剤 該当しない

## 使 用 方 法

- 1) 攪拌容器 (ペール缶など) に主剤、硬化剤を入れ、電動攪拌機を用いて均一になるまで十分に混合攪拌する。
- 2) 攪拌しながら充てん材を徐々に加え、均一になるまで十分に混合攪拌する。
- 3) 施工温度により、規定量の促進剤を添加し、十分に混合攪拌する。
- 4) 骨材充てんされた型枠内に、注入充てんする。

## 使 用 上 の 注 意

- 1) 促進剤を添加しないと硬化しない。促進剤を必ず添加すること。
- 2) 促進剤は、施工温度における強度発現性と可使時間を考慮し決定する。
- 3) 充てん材を添加しないと付着性、低収縮性が低下するので、必ず添加すること。
- 4) 主剤は使用前2層に分離しているので、十分攪拌してから使用すること。
- 5) 硬化が速いので、可使時間に十分注意する。
- 6) **硬化剤と促進剤を直接混合すると、急激に反応して発煙・発火の危険があるので、上記使用方法の手順を厳守すること。**

 注 意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。